

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月23日	作成者名	安部 孝良	評価者名	石橋 功吏
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	08 着実な総合振興計画の実行に向けて	中心となる課	企画財政部・共創企画課
分野	02 PDCAを活用した行政経営	関係課	
施策	83 進行管理システムの確立と実施		
施策の目的	戸田市第4次総合振興計画を実現するために、計画を確実に実現できるシステムを構築します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	行政評価事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
外部評価対象施策数	外部評価において評価の対象とする施策数(累計)	施策	40	8	16	24	32	40	40
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	施策体系と事務事業との関連性や、設定した指標と施策の達成目標との関連性で、一部不透明なものが見受けられる。従って、体系的に施策が展開され、施策目標を達成するための手段として事業を展開していくことが求められる。そのために施策と事業の関係性が認識できる仕組みをわかりやすい形で構築する必要がある。 また、各所属において行政評価を行うことにより、目的の共有や課題の整理、業務の優先順位付けができるようにすることが求められている。	対応策	目的や評価方法を明確にし、施策評価と事務事業評価の関連性について、引き続き、庁内へ働きかけを行っていく。 また、データ分析等によって施策を構成する事務事業の優先順位付けを徹底するとともに、その理由を適切に整理できるように努める。 なお、これら行政評価における課題については、今後、第5次総合振興計画策定に沿って、施策体系等の見直しを図り、より明確で分かりやすいものにしていく。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	令和2年度は第4次総合振興計画最終年度であり、外部評価結果を施策の見直しに繋げることができないため、成果指標は設定せずに活動指標のみ設定したところである。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	令和3年度から第5次総合振興計画が始動するのに伴い、新たな総合振興計画や時代にふさわしい行政評価制度の見直しを行っていく。
→		

(評価者コメント)

行政評価の実施に当たっては、動機づけを徹底しながらデータ分析等による各施策の目的や必要性を確認していく必要がある。また、目的達成のための取り組みやその達成状況を示す指標について、しっかりと市民への説明責任を果たしていくことが重要である。今後とも、より効率的・効果的な行政評価制度となるよう、適宜見直しを行っていく。
